



教室日記<こころの天気図>発行・音田輝元

## 人は目標を失ったとき 心の老いが始まる・・・

<三浦雄一郎>

### ■「その場かぎりの喜び」…それで良い。これも私には目標だ！

夏イベントに向けて大急ぎで準備を進めています。この夏、院内学級での企画がないこと以外は、ほぼ「今年の夏と同じペースの過密スケジュール」になっています。

夏イベント…<科学の出前授業>は、私一人では授業ができません。というのも、夏のイベントは、「<ドライアイスで遊ぼう>などの道具類が多い実験がほとんど」だからです。どうしても実験スタッフ4～6名で「チームを組んで<科学の授業>」を実施しなければ、子ども達の笑顔に繋がる実験になりません。成功しないというわけです。

そこで改めてお願いです！クラスDから、「夏の日程表・分担表」が配られると思います。ぜひ、「無理のない程度・・・」でご協力下さい。よろしくお願いします。

\*

6月22日は<吹田子ども科学実験教室>6月講座。「磁石の不思議」をテーマにした実験です。昨日ではほぼ、授業プランができあがりしました。基本的な実験内容は、すでにできている（「不思議な石・磁石」と「程度の問題」）のですが、「これをワクワク用に改訂する」のが大変。しかしこの作業も、「私にとっては磁石の勉強だ」と考えると、とてもたのしく充実した時間になりました。

#### 授業プラン<磁石の不思議と程度のもんだい>の構成

- ①学校では、学べない高度な授業内容にする。ただし！
- ②低学年でも、イメージできるようにパワーポイントをうまく活用し編集する。
- ③磁石の授業の中に・・・<程度のもんだい>のイメージを大胆に取り入れる。  
磁石の実験・現象における<測定法>の概念を教える。（イメージしてもらう）
- ④目標は、「全ての物質は、①強磁性体 ②常磁性体 ③反磁性体に分類できる」こと。  
磁石はその反応を示す道具であり、その反応を活用しているものを教える。
- ⑤最後に、磁石の<おもちゃ作り>として「くるくる磁石人形」を作って遊ぶ。

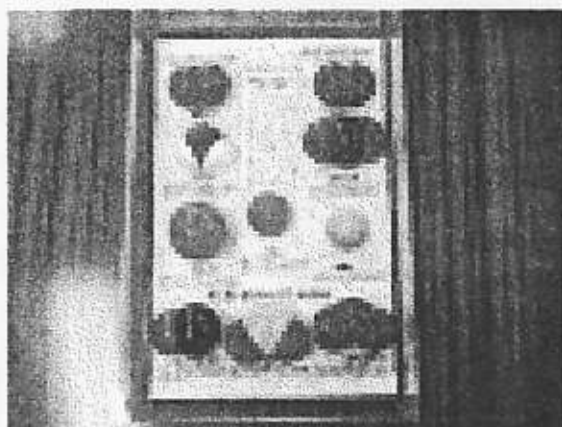
●人間は具体的な目標を持つと、それに向かって行動する意欲が湧く。80歳でエベレストに登頂するのが三浦さんの具体的な目標。80歳での登頂は世界最高齢の新記録だ。メタボ体質・不整脈・骨折などを壮大な目標と周到な準備で克服した…と<よりうり寸評>・・・三浦さんの行動とは比較することなどできないほど、「小さな活動」です。が、「私の壮大な<夢・願い>は、決して三浦さんにも負けないぞ！」…と言ってしまうと、笑われるかもしれませんね！…でもこの<夢・願い>負けませんよ！

■3日は、音田先生の「もしも原子が見えたなら」です。小さな子供たちにも、やさしく原子・分子の話をして、人気の授業です。(佐藤様編集のブログより)



●地球は大き過ぎて見えませんが、原子・分子は小さ過ぎて見えません。もしも、空気が見えたなら・・・どんなかな？ 描いてみました。

●授業の最後は、分子模型づくりです。みなさん立派な模型が出来上がりました！



●午後から、音田先生の「教室の定番ゲーム」

1. 不思議矢印「矢八」
2. 音田式・単純ビンゴゲーム
3. グループ対抗・クイズ100人に聞きました。
4. グループ対抗・〇〇ハウマッチ
5. その他

「不思議矢印」にみなさん？ たのしい！！

●一ロレポート

★子どもになってコーフンしました。★「むずかしい分子の話をつかり易く」は大成功、「赤パンツ」の命名は良かった。★見えない「もの」を、見える大きさの「もけい」と動画での、教え方はGOOD！★低学年で学習する??おどろき。楽しく理解させる方法は難しいのでは。★水分子の準備が素晴らしいですね。プリントは元々のをうまく編集されてスッキリわかりやすいです。分子模型はもちろん、ケースも立派ですね。2時間でここまでできるとわかりました。★立派な模型が出来ました。いつも身近においておこうと思います。★クラスの雰囲気にも慣れて来て、それぞれの人との会話が楽しいです。特に同チームの人とのやりとりは・・・。(佐藤和次様編集のブログより)

